





2月の感謝～キリスト教の葬儀～

2月、1月末に88歳で召天されたア兄のお別れ会という大きな出来事がありました。私たちの教会としては、初めてみんなで一から準備した「葬儀」でしたので、その全行程が守られ、素晴らしい当日を迎えられたことを主に感謝します。キリスト教の葬儀は、礼拝形式で行われます。それは、旅立った兄弟姉妹を創造された神さま、その全生涯を共に歩み守られた神さま、十字架の贖いと復活の力で死を越えて私たちを導き、天の御国での再会を約束してくださる神さまをほめたためです。ア兄のお別れ会においても、神さまの素晴らしい作品であるア兄と私たちが出会わせていただいた恵みを心から感謝しつつ、必ずまた会えるという喜びの希望を、集まったみなで共に分かち合うことができました。実の孫のように可愛がってもらった6歳のMちゃんの「とても寂しいけれど、また天国で会えるので、今日はとっても楽しい日になりました」という祈りが、深く心に残っています。死は別れです。しかし、私たちクリスチャンにとってのそれは、しばしの、一時の別れです。私たちは、復活し、そして、永遠に生きるために死ぬのです。

病床やご高齢で教会に足を運ぶことが難しい場合、お呼びいただければ、牧師がどこへでも祈りにお伺いします

教会HPはこちら <https://olivetree-christchurch.com>

復活感謝特別礼拝へのお誘い

2026年4月5日(日)

・ごどもれいはい 9時半～10時

・礼拝 10時半～12時

礼拝後はパーティ！& 工作タイム！  
※参加費は無料です。\*

もし、イエス・キリストの十字架が死で終わってしまったのなら…たとえ私たちのすべての罪が赦されたとしても、そのために払われたイエス様の犠牲を思い出すことは、負い目や悲しみを伴うものであったはずですが。しかし、今は、私たちは、ただ喜びと感謝、そして大いなる希望をもって十字架を見上げることができます。それはなぜでしょうか。

3日目の日曜日の朝、一体何が起きたのか…あなたもぜひ、その驚くべきニュースを聞きに、教会へ！



金曜日

一晩中休むことなく、ユダヤの宗教指導者→ローマ総督→ユダヤの王→ローマ総督と、たらいまわして不当な裁判にかけられました。そして決定した十字架刑。ののしられ、鞭打たれ、いばらの冠をかぶせられたイエス様は、ご自身十字架を背負って、都の外の見せ場へと歩まれました。

「父よ、彼らをお赦しください」



処刑

午前9時～午後3時

土曜日

安息日

ユダヤ人がすべての仕事を休む日

日曜日



さいばん 裁判・拷問

まいそう 埋葬

はか 墓の中